

みんなでつくる、笑顔あふれる学校生活
～児童会主催「ラジオ体操企画」表彰式 3年生～

児童活動と学級活動を連動させ、異学年交流を通して「自分たちの学校生活をより良くする主体性」を育む取り組みを進めています。その一環として、児童会が企画した「ラジオ体操（10回以上参加で表彰）」の表彰式が3年生の学年朝会の中で行われました。

今回、見事殿堂入りを果たした3年生の2名が表彰を受けました。名前を呼ばれ、誇らしげに賞状を受け取る2人の笑顔がとても印象的でした。会場を包んだのは、頑張りを称える仲間たちの温かい拍手。そして、賞状を手渡す児童会役員の6年生が見せた優しく頼もしい笑顔も、この企画の深まりを感じさせる瞬間でした。

学年を超えて互いに認め合い、自主的に学校生活を盛り上げようとする温かい輪が着実に広がっています。



とよみっ子

発行 とよみ小学校
校長 玉城 健
令和8年度 9月号



温かい拍手を受ける3年生



児童会役員からの表彰



ラジオ体操皆勤20人も
豊見城市根差部自治会

【豊見城】豊見城市根差部自治会は7月21日から8月21日までの平日、根差部公民館前広場でラジオ体操を実施した。午前6時半から、保護者同伴の未就学児や小中学生、大人が、多い日で約100人が参加し早朝から汗を流した一写真（提供）。

台風の影響で8月7日は中止となったが、22日間の夏休み朝



のラジオ体操の皆勤賞は20人以上になり、昨年から倍以上になったという。

今年からスタンプ係は中学生が担当し、6年生が先頭に立ってラジオ体操に参加。8月に入

り慣れてくると、低学年の子どもたちも5、6人くらい6年生の横に並んで率先し、前で体操に参加していた。

とよみ小2年の東恩納健慎さんは「毎日ラジオ体操に参加したい」と話した。長嶺中2年の外間陽海里さんは「ラジオ体操に参加することで、早起きできて一日の生活リズムが整う。同級生も含めて中学生もたくさん参加していて、友だちと会えて話ができた」と話した。